

令和3年度 委員視察研修計画

資料1

- 1 日 時 令和3年 月 日 () 午前 : 00 集合・出発 (町民会館前)
※日時については、後日決定予定です。午後 : 30 帰着予定 (町民会館前)
- 2 目的地 瑞穂町の近隣地域 (青梅市) の文化財を研修する。
(藤橋城址、報恩寺、塩船観音、勝沼城跡、天寧寺、乗願寺、金剛寺海禅寺)
- 3 参加者 文化財保護審議会委員 名
事務局 名
- 4 交通手段 バス (総務課に予約)
- 5 コース ※すべて一般道を使用

瑞穂町役場→ (20分) →藤橋城址→ (2分) →報恩寺→ (5分) →塩船観音→ (10分)
→勝沼城跡→ (5分) →天寧寺→ (5分) →乗願寺→ (10分) →金剛寺→ (10分) →
海禅寺→ (35分) →瑞穂町役場

6 候補地

(1) 藤橋城址 青梅市藤橋2丁目168 藤橋城跡公園

観覧時間 制限なし 拝観料 無し

大型駐車場なし

見学時間 15分 (8時20分~8時35分)

来歴など

東西70m、南北60mの曲輪と土塁等が遺された城跡で、戦国時代の平山越前守の居館跡だと言われている。同氏は北条氏照の家臣だったと伝わっている。

(2) 報恩寺 青梅市今寺1丁目540番地

観覧時間 制限なし 拝観料 無し

大型駐車場なし

見学時間 15分 (8時45分~9時00分)

来歴など

青梅市内唯一となる天台の古刹。延暦寺の亮海大和尚の開基と伝わる。元享2年(1322)、承祐の代に三田弾正平清綱により再興され、その後は、藤橋城主・平山越前守平清綱により再興された。

見どころ

地藏堂

青色石卒塔婆 (2基: 青梅市有形民俗文化財)

境内 (青梅市史跡)

(3) **塩船観音寺** 東京都青梅市塩船 194 0428-22-6677

観覧時間 9:00 から 16:00 まで 拝観料 100 円 (本堂のみ)

大型駐車場あり (つつじ祭り期間中は有料。バスで行く場合は事前連絡が必要)

※秘仏の見学は開帳時以外不可

見学時間 1 時間 (9 時 1 0 分～1 0 時 1 0 分)

来歴など

大化年間 (645-650)、若狭国の八百比丘尼が千手観音像を安置したことに始まるとされ、塩船の名前は天平年間(729-749)に行基がこの地を訪れた際名付けたという。貞観年間 (859-877) には興隆を極め、鎌倉期になると武蔵七党の流れを汲む金子氏の庇護を受け、室町期には青梅・奥多摩地方に勢力を持っていた三田氏の帰依を得て栄えた。

見どころ

国指定重要文化財

本堂、仁王門、阿弥陀堂、厨子 (室町期後期建立)

木造千手観音立像、木造二十八部衆建立像 (鎌倉期)

東京都指定有形文化財

木造金剛力士像 (仁王) 立像

青梅市指定有形文化財

薬師堂、木造薬師如来立像、木造毘沙門天像・本尊脇侍、木造観音菩薩立像、

阿弥陀如来脇侍、胴鐘、青石塔婆 (大板碑)、大般若経

東京都天然記念物

観音寺の大スギ

(4) **勝沼城跡** (光明寺から徒歩) 電話番号 (光明寺) 0428-22-3567

観覧時間 制限なし 拝観料 無し

大型駐車場あり

見学時間 20 分 (1 0 時 2 0 分～1 0 時 5 0 分)

来歴など

室町期にこの地方を治めていた三田氏の居城だったことが知られているが、その後、北条氏照に滅ぼされ、師岡山城守が城主となり、城の名前も「師岡城」に変更されたという。豊臣秀吉の関東征伐の際、廃城になったと伝わる。

(5) **天寧寺** 東京都青梅市根ヶ布 1-454 0428-22-3566

観覧時間 6:00 から 16:30 まで 拝観料 無料

大型駐車場あり

見学時間 20 分 (1 1 時 0 0 分～1 1 時 2 0 分)

来歴など

宗派は曹洞宗。山号は高峯山。平将門が創建時は真言宗高峯寺であったが、のちに勝沼城主 三田氏宗が甲州中山の広巖院二世一華文英を開山に招いて再建したとされている。江戸時代には寺領 20 石の御朱印状を幕府より拝領している。

見どころ

国重要美術品

三田弾正忠政定 寄進の大梵鐘

その他

六地藏、惣門と参道、山門、中雀門、鐘楼、法堂、僧堂、本尊（釈迦如来坐像）など

東京都指定史跡

天寧寺境域

※昼食：夢庵 青梅店 青梅市野上町 4-1-4-1

(6) **乗願寺** 東京都青梅市青梅市勝沼 3 丁目 1 1 4 0428-22-3566

観覧時間 指定なし 拝観料 なし

駐車場 あり

見学時間 20 分（1 時 10 分～1 時 30 分）

来歴

勝沼山と号し、三田下総守長綱が日輪寺の平将門供養の席に列した際、時宗 2 世他阿真教上人に会い、上人を開山に迎えて正安 2 年（1300）に創建したとされる。三田氏滅亡や、豊臣秀吉の小田原攻めの際に焼失したが、慶長年間（1596-1614）に 2 4 世覚阿性海が再建。慶安 2 年（1649）徳川家光より朱印状を拝領している。

(7) **金剛寺** 東京都青梅市天ヶ瀬町 1032 0428-22-2554

観覧時間 指定なし 拝観料 なし

大型駐車場あり

見学時間 20 分（1 時 40 分～2 時 00 分）

来歴など

山号は「青梅山」、院号は無量寿院、本尊は不動明王。承平年間(931-937)に、寛空僧正が開山したと伝わり、境内には開基である平将門ゆかりの「将門誓いの梅」があり、「青梅」地名の由来となっている。その後、元享年間(1321-1324)に頼遍上人が中興したとされている。その後、三田氏、後北条氏、徳川氏の庇護を受けた。

見どころ

国重要文化財

絹本着色如意輪観音像

東京都指定有形民俗文化財

金剛寺表門、絹本着色田辺清右衛門惟良画像、絹本着色高野四所明神図
都道府県指定天然記念物

ウメ

(8) **海禅寺** 東京都青梅市二俣尾 4-963 0428-78-9447

観覧時間 指定なし 拝観料 なし

大型駐車場 なし

見学時間 1時間(2時10分～2時30分)

来歴など

山号は「瑞龍山」、週は曹洞宗、本尊は釈迦如来。寛正年間(1460-1466)に、一州正伊が開山したと伝わり、第5世住職・太古禅梁の代に辛垣城主の三田綱秀の帰依を受け、三田氏の菩提寺となっている。その後、後北条氏の台頭により三田氏は滅んだが、そのまま墓は残されている。

見どころ

東京都指定史跡

海禅寺境域

青梅市有形文化財

禅師号宣下勅書、勅願所繪旨

- ・ 役場帰着 (3時頃)



委員視察研修地地図（午前）



委員視察研修地地図（午後）